



## 新年のご挨拶



新潟県厚生連小千谷総合病院 病院長 高橋 達

新しい年を迎え、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。新潟県厚生連小千谷総合病院は早いもので開院後4年目に入り、新たな年を迎えることが出来ました。これもひとえに皆様方の日頃のご支援ご助力の賜と深く感謝申し上げます。

旧年中はなんとといってもコロナに始まりコロナに終わった1年でした。接触者・帰国者外来から始まって発熱相談センターでのPCR検体の採取業務や院内感染の防止など、緊張の連続でした。本年2月からはいよいよ新型コロナウイルスワクチンの医療従事者への接種開始が予定されています。また、オリンピック・パラリンピックイヤーでもあります。丑年ですが、牛歩ではあっても着実に歩を進め、新型コロナウイルスを封じ込めて、正常な社会活動が再開されるようにさらに努力を重ねていきたいと思っております。

皆様方におかれましても、今しばらくの間はマスクの着用やソーシャルディスタンスの確保、手洗いの励行を心掛けて戴き、本年が素晴らしい年となることを衷心より祈念申し上げます。ウイルス撲滅に向けての勝負の年となる本年も地域医療の中心的病院としての機能をなお一層高めるべく全職員が一丸となり努力して参る所存ですので、皆様方のさらなる温かいご支援ご助力をよろしくお願い申し上げます。



地域連携支援部部长 家里 裕

明けましておめでとうございます。

昨年はコロナ禍の大変な一年で、一度も勉強会や連携会議を開催できませんでした。今年は早く収束して、いつもの日常生活が戻ることを期待しています。

新潟県厚生連小千谷総合病院も開院して早4年が経とうとしています。地域の中核病院として急性期・慢性期の医療から、長岡市の急性期病院と連携しての回復期医療、また健診センターで市民の健康管理などの保健医療と幅広い分野で活動しています。また、高齢者の多い地域の特性もあり、高齢者の入院が多いのも特徴です。疾患が治っても退院までの時間がかかることが多いので、入院時から関係職種の方々に退院に向けた調整を行なってもらい、患者様を中心に考えた最良の医療サービスが受けられるように努めています。地域連携支援部として在宅復帰や施設入所などを含め、地域の医療・福祉・介護の連携を密にすることが最重要と考えています。

皆様と顔の見える関係を構築して連携をスムーズに行いたいと願っています。

今年もよろしくお願い致します。



## 神経内科のご紹介

神経内科（日本脳神経学会専門医） 登木口 進

当院神経内科について簡単に説明し、患者紹介を頂く際のお役に立つよう述べさせていただきます。

当科では現時点では外来診療のみ行っており、外来診療は火曜（登木口）、水曜（新潟大学からの出張医師）、金曜（登木口）の午前中のみです。第3火曜・金曜の外来は休診となっております。

入院治療が必要で、且つ専門的知識や診断・治療に特殊な検査を要する難しい症例は、長岡の大病院に紹介させて頂いておりますが、一般的な知識・治療で対応できる普通の疾患の場合は、本人・家族と相談の上、当院内科医師に入院を依頼し、治療している場合もあります。

外来で多い疾患は、パーキンソン病、さまざまなタイプの認知症、いろいろな種類の神経難病、脳卒中後遺症、てんかん、頭痛、歩行障害などが多いです。

緊急性がない場合は、予約してご紹介頂くと、じっくり診察ができます。特に神経難病などが疑われる新患の場合は、家族歴・病歴聴取や診察、説明などに数十分も要する場合がありますので、ご理解頂けるとありがたいです。

当院では、パーキンソン病やレビー小体型認知症の確定診断に今や必須と言っても過言ではない心臓交感神経イメージング（MI BG心筋シンチ）を行っておりますので、患者サポートセンター病診連携を通してご依頼頂ければ検査可能です。診断レポートも添付してご報告いたします。CT、MRI、脳波なども同様にご依頼頂ければ検査可能です。

以上簡単ですが、当科の現状などにつきご報告させていただきました。

病診連携よりご案内いたします



### 心臓交感神経イメージング（MI BG心筋シンチ）のご依頼方法

- 1 当院のCT・MRI、核医学検査依頼書兼診療情報提供書の用紙を使用
- 2 検査種別の核医学検査を○で囲んでいただき、右側にあります検査名に（交感神経機能）とご記入ください

（注）この検査は毎週火曜と木曜のみとなりますのでご了承ください。



### 脳波検査のご依頼方法

- 1 当院の紹介患者事前申込書を使用
- 2 ご紹介目的の欄に「脳波検査希望」とご記入いただき、紹介状と一緒に申込んでください

（注）この検査は毎日2回（14：00～、15：00～）行っております

※ 心臓交感神経イメージング・脳波検査ともに登木口医師が読影・診断し、結果は後日郵送させていただきます。

当院におけるコロナウイルスに関する対応をご紹介します



## 新型コロナウイルス感染症流行期における一般外来での感染対策について

外来師長 齋藤道子

いつも大変お世話になっております。今回は当院の新型コロナウイルス感染症流行期における一般外来での感染対策についてご紹介したいと思います。

現在、新型コロナウイルス感染症の状況から病態、合併症、検査、感染経路が徐々に分かってきており、日ごろの感染防止の重要性を改めて実感していることと思います。そこで外来では、①経路別感染予防の徹底 ②有症状者の早期探知 ③紹介患者の情報共有ができるよう取り組んでいます。

### ① 経路別感染予防の徹底について

（外来隔離室）

（一般外来発熱者の待機場所）



新型コロナウイルス感染症疑いの患者様は、正面受付ではなく外来隔離室から直接出入りをしてもらっています。ご紹介の際は院内に入らず病院に到着しましたら、駐車場から病院代表電話に一報連絡をもらえるよう患者様にご案内させていただきますようお願いいたします。

### ② 有症状者の早期探知について

AI体温検知カメラの設置

（正面玄関）

（時間外出入口）



(A I 問診)



(A I 問診入力スペース)



A I 体温検知カメラにて検知した発熱者は速やかに各ブロックに連絡が入り、待合室のご案内をしています。受診患者以外は院内の立ち入れをご遠慮いただいております。また、発熱など有症状者との接触時間を減らすためA I 問診を導入しております。

③ 紹介患者の情報共有について

発熱患者は事前に連絡していただき、電話による問診を行い、診察のご案内をしています。今まで同様にご紹介の際は、事前に連絡を下さるようお願いいたします。

(病院代表電話 0258-81-1600 へおかけください。各科外来での対応となります)

今後ともよろしくお願いいたします。

お知らせ

経管栄養チューブ規格が変更について

経管栄養は人為的な栄養補給行為のため、チューブの誤接続が全国的に報告されています。対策として栄養チューブが国際規格に統一されることになり、当院も 2 月より徐々に新規格に変更していきます。それに伴い移行期間には接続する際の変換コネクタが必要となります。



そのつど、チューブの交換時、外来で説明をしていきますのでよろしくお願い致します。

編集後記

新たな年が始まりました。今もなお新型コロナウイルスの感染が拡大しています。当院へ来院される方々におかれましても感染対策にご協力頂きますようお願い申し上げます。



J A新潟厚生連小千谷総合病院  
患者サポートセンター  
TEL : 0258-81-1616 (直通)  
FAX : 0258-81-1602 (直通)